

特定非営利活動法人リハケア神戸

1. (目的理念)

- ・私たちは、障がいを持って地域で生活している方々の支えとなり、希望を与えられる存在になります。

2. (行動理念)

- ・私たちは、それぞれの目標に向かってチャレンジし、成長し続けます。さらにチームとして、質の高いサービスを提供します。

3. (福祉理念)

- ・私たちは、すべてのスタッフに感謝し、働かせてもらっているこの地域の縁を大切に、自身や周囲の幸せを追求します。



社 名：特定非営利活動法人リハケア神戸
住 所：兵庫県神戸市西区玉津町田中597-1
役 職：理事
氏 名：木俣 信治
所 属：中神戸支部
同友会入会：2019年3月

■事業内容及び会社沿革

特定非営利活動法人リハケア神戸は、訪問看護ステーション「きらり」と指定児童発達支援事業所「児童デイサービスいっばいっば」放課後デイサービス「いっばいっば」を運営しています。この法人は、障害者及び高齢者の運動機能を維持改善することにより、社会参加や社会復帰につながり、障害者及び高齢者やその家族が将来に希望を持ち、生き生きとした日常生活を営むことができる社会の実現を目指します。

■経営理念成文化のきっかけ

いつ頃・どのようなきっかけ（勉強方法や経緯）で作成しましたか

同友会に入会して初めのころに、例会やブロック会で、自分の悩みをよく聞いてもらう機会が多くありました。

当時の悩みとしては、ブレる発言、決定・判断が遅い（職員の話聞いて悩みまくる）がありました。また、経営に対する知識がなく、会社存続のための後ろ向きな経営、決算書で赤字じゃないからよかったと思うような経営しかできていなかったです。そんな話をしていると、経営指針セミナーへ行くべきだといわれ、すぐに参加を決めました。

その中での出来事について（社内での出来事・社員の变化など）変わったこと

経営者になって、決断をする場面が多くあり、そこにかなりの時間と負担を感じていました、誰もが一致する判断なんてないのですが、誰にとっても良いように作っ

ていこうとしていたので悩みました。

理事同士で話し合い、会社の存在意義が明確になり、何かトラブルが起こったときの判断基準ができました。例えばリハケアの場合、コロナが発生した時や警報が出た時の対応について閉所にするか利用を受け入れるかについて判断が必要ことがあります。他の事業社が休業という選択肢を取る中、私たちは保護者の立場で考え、保護者が安心して働けるように安全な方法で預かれることを選択し続けてきました。もちろん職員から閉所にした方がいいという意見が出ますが、リハケアとしての方針はこうだと、言い切れるようになりました。経営指針という軸があって出した決断は次の対応につながって、経験として積み上げられるようになりました。

■経営理念への想い

会社の経営理念は不変なものと思っています。会社を取り巻く人が変わっても、この理念は継続して行って欲しいと思っています。一人でも多くのスタッフがこれに共感してほしいと考えています。経営指針報告では理念の部分についてエピソードなども踏まえてじっくりと時間をかけて説明しています。

■これからの夢・抱負

法人の経営理念の存在意義を元に集まってくれる仲間と共に、物価高や制度改定など様々な外部環境の変化にも柔軟に対応できる、そんな組織づくりを目指します。そして10年後にはそんな仲間が2倍、3倍と増え、地域でなくてはならない組織になりたいと思います。

